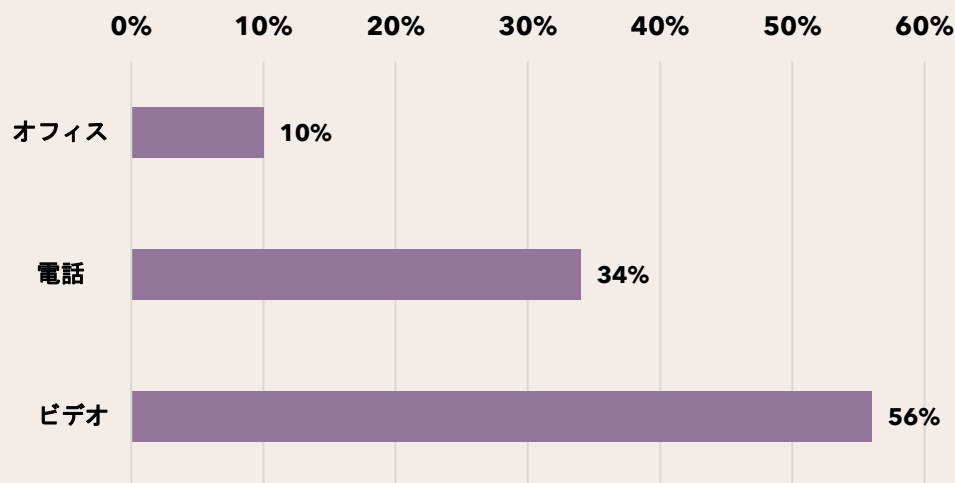


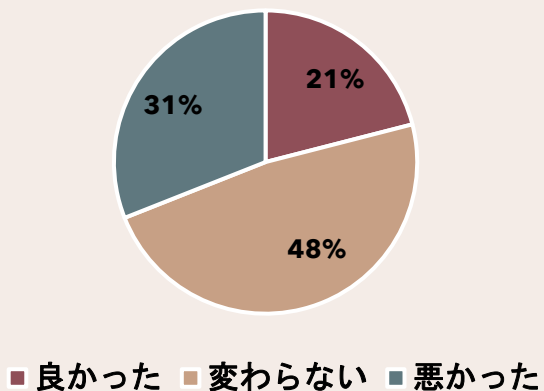
候補者の目から見たリモート採用と 入社後についての調査



2020年3月のロックダウン以降、面接はどこで受けましたか？



ロックダウン以前と比べて、リモートでの面接を受けてどう感じましたか？



ロックダウン以降、対面での面接を受けたのは10%にとどまった。リモート面接に対しては、約半数が対面面接と変わらないとし、良かったと答えたのは2割。

悪かった（31%）と回答したその理由は、人間らしさに欠ける感じがしたというもの。

- 「（オンラインでは）実際の雰囲気を感じ取ることが難しい」
- 「つながりを感じたり、面接官がどんな人なのかを図ることができにくい」
- 「ボディランゲージやアイコンタクトができないので会話が一方通行になりがち」

技術的なトラブルの発生によりイライラすることも。

- 「通信状態が安定せず音声の質が良くないので普段より神経質になった」
- 「インターネットが時々切れて見えなかったり聞こえなかったりしてネガティブな気持ちになった」
- 「通信が切れたらと思わずずっと不安だった」

ただし、多くの人にとって自宅環境での面接はよりリラックスできるものでもあった。

- 「圧迫を感じずリラックスできた」
- 「対面よりも緊張しなかった」
- 「遅刻しないか気にしなくてよかったのでリラックスできた」

リモート面接をパスして新しい仕事についての候補者のうち、約3分の2（61%）が未だに新しいオフィスに行っていません。

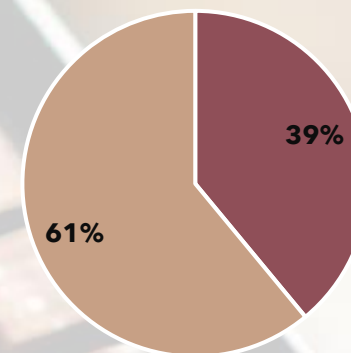
67%が仕事開始日には企業から必要な備品（ラップトップ、携帯、モニター、マウス、導入資料等）を支給され、Zoom等による初日の説明や会社研修を受けています。

中には「**会社専用マスク、シャンパンとチョコレートを支給された**」という人も！

ほとんどの人がオンラインでの初日研修や業務の説明・引継ぎについて前向きな印象を持っています。

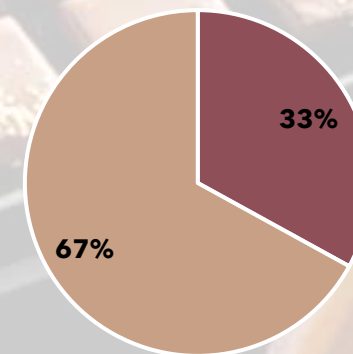
- 「考えていたよりずっと良かった」
- 「コロナの現状をよく考慮した内容だった」
- 「MS Teamを使ったオンライントレーニングは録音が可能で、繰り返して聞けるようになっていた」

2020年3月以降に就職した方へ、実際のオフィスに出勤したことはありますか？



■ はい □ いいえ

初日までに仕事に必要な備品やトレーニング資料を受け取りましたか？



■ はい □ いいえ

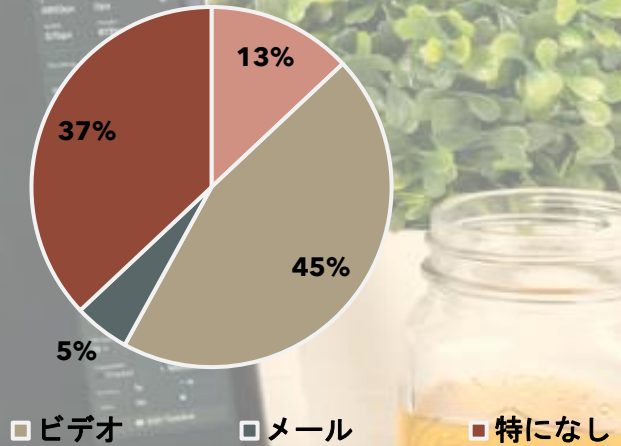
またリモートでスタートした人々はその多くがチームの一員として仕事をしていると感じています。

70%が新しい同僚と対面し、そのうちの76%が少なくとも週に1回は同僚と話しており、会社全体のミーティングだけでなく自分で設定した時間で交流しています。

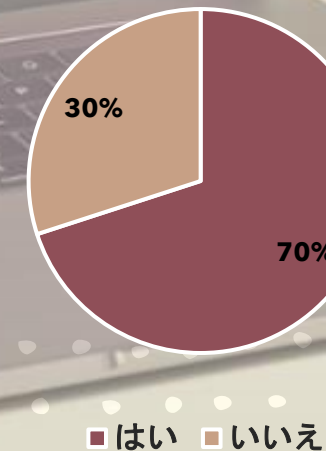
こうした個人的なコミュニケーションは、ビデオコールやメール、チャットといった形態を問わず非常に重要であり、特に上司との連絡は重要視されています。

- 「初日研修があり、特にCEOが時間を取って話をしてくれたのはとても良かった」
- 「これから仕事をする全員と話ができ、皆がなんでも手伝うように会社が気を配ってくれた」
- 「電話で会社の説明や仕事の概要、自分の仕事にどのようなことが期待されているかの説明を受けた」
- 「わからないことがあれば、電話、メール、チャットなどでなんでも聞いてほしいと全員からアドバイスがあった」
- 「マネジャーがビデオコールで同僚を紹介し、HRが残りのメンバー全員と金曜日のオンラインドリンクをセッティングしてくれた。初日から、同僚がメンバーの一員として扱ってくれていると感じた」
- 「新入社歓迎のオンラインパーティや歓迎ドリンクがあった」

初日研修やトレーニングはどのような方法で行われましたか？



新しい同僚と会いましたか？



一方で期待外れだった人たちもいます。

3分の1のリモートワーカーが、初日までに会社からの備品や資料などを全く受け取らなかったとしています。

また37%が、導入研修やトレーニングなどを受けていません。

- 「導入期間中十分なサポートがなかった」
- 「話している同僚の顔を見たことがない。電話ではとてもフレンドリーだが、人間らしさに欠けているような気がする」
- 「全く良くない」
- 「めちゃくちゃである」

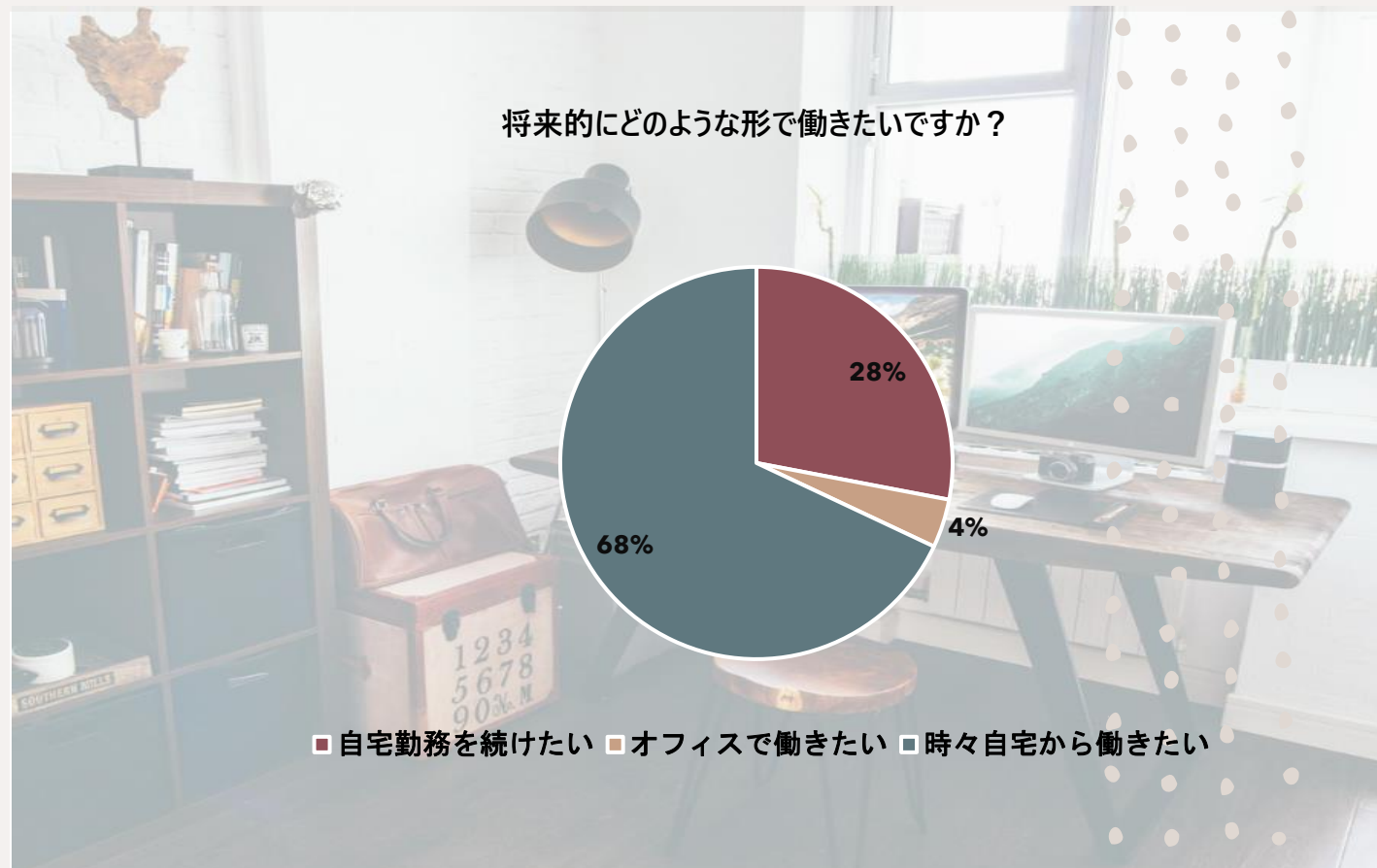
チームメンバーとして仕事をしてもらうために、雇用者側もちょっとした工夫をすることが必要でしょう。

- 「Zoomでの社内ミーティングが必要」
- 「時間を決めた定期的なオンラインミーティングを行ってほしい」
- 「チームの一員として扱ってほしい」

そしてロックダウンが解消された時はリアルで集まりたいという希望が多く見られました。

- 「チームでの食事会を行ってほしい」
- 「集まる機会を設けてほしい」

最後に、リモート採用でのプロセスで満足している人もそうでない人も、ほぼすべての人が（96%）何らかの形でリモートワークを継続することを望んでいます。





まとめ

技術的な問題・トラブルがなければ、ビデオ面接のほうが候補者はよりリラックスできる傾向にあります。場所を調べたり遅刻を心配したりする必要がなく、自分の好きな時間に面接を受けることができ、より冷静に面接に臨むことができます。

企業側としては、新しい雇用者を歓迎し、チームのメンバーとして迎えることが非常に重要です。

仕事を開始する前に必要な備品や資料を手配し、入社後は同僚や上司にコンタクトしやすい環境を作りましょう。企業側が良い人材を採用したと思うのと同様、採用された側も良い会社に入社したと思えるように配慮しましょう。

本件へのお問い合わせ・ご感想はチームジャパン・守中までお気軽に
お問い合わせください。Tel: 0788 101 5029

チームジャパン：teamjapan@people-first.co.uk
www.people-first.co.uk